

ウクライナに戦車供与

米、主力の31両

平和団体「交渉こそ」

【ワシントン＝島田峰隆】バイデン米大統領は25日、ホワイトハウスで演説し、ロシアの侵略を受けるウクライナに主力戦車「エイブラムズ」31両を供与する旨発表しました。米メディアは「西側諸国による大規模な支援の波を解き放つ決定だ」と指摘しています。

ア对抗する能力を引き上げる必要がある。長期的にロシアの侵略を抑止し、防衛する能力が必要だ」と述べました。

一方でバイデン氏は欧米諸国による軍事支援について「ウクライナが自國の領土を守るために支援するものだ。ロシアを攻撃する脅威ではない」と説明しました。

ウクライナにエイブラムズが届くまでは数ヶ月かかる見通しです。米軍は近いウクライナ兵に対して操縦や保守・管理についての訓練を始めます。

バイデン氏は「春が近づくなかウクライナ軍はロシアによる攻撃に対し準備をしている」と指摘。「ロシ

セツ・ピース・アクション」は「軍事的な解決はない。唯一の解決策は交渉による休戦だ」「米政府に対する」も主張している。

しては紛争を激化せずに武器の供与を止め、交渉を妨げずに支持する」と表明する。

明。25日前には独仏英伊の首脳と電話協議し、ウクライナへの全面的な支援の継続を確認したことを明らかにしました。

ウクライナ・ポスト紙は欧米諸国による主力戦車や戦闘車両の供与について「第2次世界大戦後70年以上も歐州で見られなかった規模での地上での戦争行為（とつながる記述）だと指摘しています。

バイデン氏は主力戦車「レオパルト2」の供与を決めたドイツに感謝を表

米平和団体「マサチュー

1/27 3月

独も決定

他国からも了承

【ベルリン】時事】ドイツ政府は25日、独製主力戦車「レオパルト2」をウクライナに供与すると発表しました。他国との供与も認めます。

独政府は声明で、レオパルト2を保有する他国と合わせて「2個の戦車大隊」編成を目標と表明。独メディアによれば、計80台程度の規模が想定されていました。ショルツ首相は「(支援国が)緊密に協力することができ正しい。これからもそうする」と強調しました。

ドイツは第一弾として14台を供与。これとは別にボーディンは第一弾として14

【ベルリン】時事】ドイツ

をウクライナへ引き渡す手続きに入っています。フランスやオランダ、スペインなども追随する姿勢。独製戦車ドイツが供与を認めただけで、じつした動きがむろんこながりそうです。

【ベルリン】時事】

イナは、ロシアによる大規

模な攻勢に警戒感を高め、

欧米諸国に戦車供与を強く

要望してきました。ゼレン

スキー大統領は通信アプリ

「テレグラム」で、ショル

ツ氏と電話したと明かし、

「重要で時宜を得た決定を

聞いた。心から感謝する」と歓迎しました。
歐米製の主力戦車は地上戦で敵陣を突破する破壊力を持ち、これが繰り前線で大きな威力を發揮すると期待されています。

強力な兵器は戦況への影響が大きいことから、ドイツは北大西洋条約機構(NATO)とロシアの全面衝

突きながらかねないと警戒し、単独での供与決定に慎重でした。